

外来化学療法ホットラインにおける疼痛に関する問い合わせ内容の実態調査

研究対象：

2014年10月より2015年9月までの間に外来化学療法ホットラインに相談を寄せられた患者さんのうち、痛みに関する相談をされた患者さんを対象としています。

研究の目的：

国立がん研究センター東病院では外来化学療法を受ける患者さんに対して、居宅時に起こった副作用の相談窓口として外来化学療法ホットライン（以下、HL）を実施しています。HLに寄せられる相談内容は発熱が最も多く、次に痛みがあげられます。痛みに関する相談の実態調査を行うことを目的としています。

方法：

本研究は2014年10月～2015年9月にHLに寄せられた痛みに関連する相談事例について、診療録より、相談内容、痛みの原因、薬剤師の介入の有無、薬剤師の介入内容について情報収集を行います。

診療録の閲覧および情報収集は薬剤師が行います。

個人情報保護に関する配慮：

診療録の閲覧は個人情報を伴いますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究登録番号を使用管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しませんので、下記連絡先までお申し出ください。

【問い合わせ・苦情等の相談窓口】

研究責任者

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 薬剤部 野村 久祥

TEL 04-7133-1111/FAX 04-7134-6879